

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-521475(P2009-521475A)

【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2008-547604(P2008-547604)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

A 6 1 K 31/353 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 2 3 G 1/00 (2006.01)

A 2 3 G 1/30 (2006.01)

A 2 3 L 2/52 (2006.01)

A 2 3 L 2/38 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 35/78 X

A 6 1 P 17/16

A 6 1 K 31/353

A 6 1 P 17/02

A 2 3 L 1/30 B

A 2 3 G 1/00

A 2 3 L 2/00 F

A 2 3 L 2/38 C

A 2 3 K 1/16 3 0 4 C

A 2 3 K 1/16 3 0 2 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 6】

ここで、

n は 2 ~ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または型の立体化学を有し、

R は OH または O - 糖であり、

C - 4、C - 6 および C - 8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C - 4、C - 6 または C - 8 の位置で生じ、

C - 4、C - 6 または C - 8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z はそれぞれ、水素または糖であり、

糖は、随意的に、例えばエステル結合を介してなど、いずれかの位置においてフェノー

ル部分で置換される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

ここで、

n は 2 ~ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または型の立体化学を有し、

R は OH であり、

C - 4、C - 6 および C - 8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C - 4、C - 6 または C - 8 の位置で生じ、

C - 4、C - 6 または C - 8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z はそれぞれ水素である。

本発明に係る製品および方法に有用な化合物の例としては、本明細書に記載される化学式 A の化合物が挙げられ、ここで整数 n は、3 ~ 18、2 ~ 12、3 ~ 12、2 ~ 5、4 ~ 12、5 ~ 12、4 ~ 10、または 5 ~ 10 である。一部の実施の形態では、整数 n は、2 ~ 4 であり、例えば 2 または 3 である。この開示は、本明細書の化学式 A のいずれの化合物にも適用される。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

ここで、

n は 2 ~ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または型のいずれかの立体化学を有し、

R は OH また O - 糖であり、

C - 4、C - 6 および C - 8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C - 4、C - 6 または C - 8 の位置で生じ、

C - 4、C - 6 または C - 8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z はそれぞれ水素または糖であり、

糖は、随意的に、例えばエステル結合を介してなど、いずれかの位置においてフェノール部分で置換される。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

ここで、

n は 2 ~ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または型のいずれかの立体化学を有し、

R は OH であり、

C - 4、C - 6 および C - 8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C - 4、C - 6 または C - 8 の位置で生じ、

C - 4、C - 6 または C - 8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z はそれぞれ水素である。

## 【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象における肌質を改善する方法に使用するための組成物であって、前記使用が経口投与によって行われ、ここで前記組成物が、

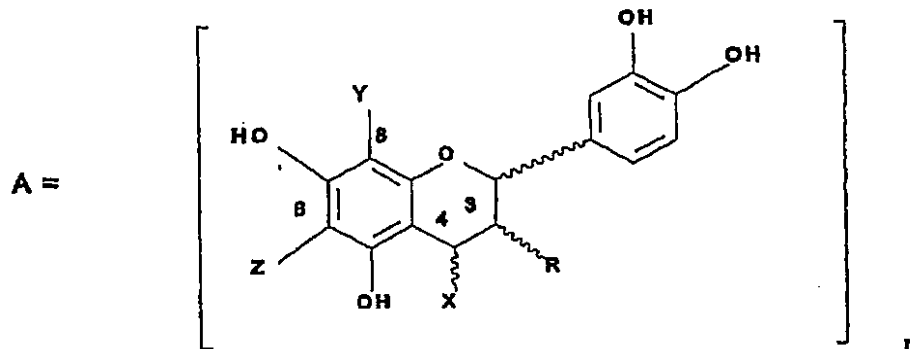
(i) カカオ成分と、

(ii) エピカテキン、カテキンおよびそれらの誘導体から選択される化合物であって、前記誘導体が没食子酸誘導体ではない、化合物と、

(iii) 下記化学式 A を有する化合物、またはその薬学的に許容される塩または誘導体と、

を有効量で含むことを特徴とし：

【化 1】



ここで、

n は 2 ~ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または型の立体化学を有し、

R は OH または O-糖であり、

C-4、C-6 および C-8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C-4、C-6 または C-8 の位置で生じ、

C-4、C-6 または C-8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z は独立して水素または糖であり、

前記糖は、随意的に、いずれかの位置においてフェノール部分で置換される。

【請求項 2】

対象における、紫外線が引き起こす皮膚の紅斑および / または光老化の低減方法に使用するための組成物であって、前記使用が経口投与によって行われ、ここで前記組成物が、

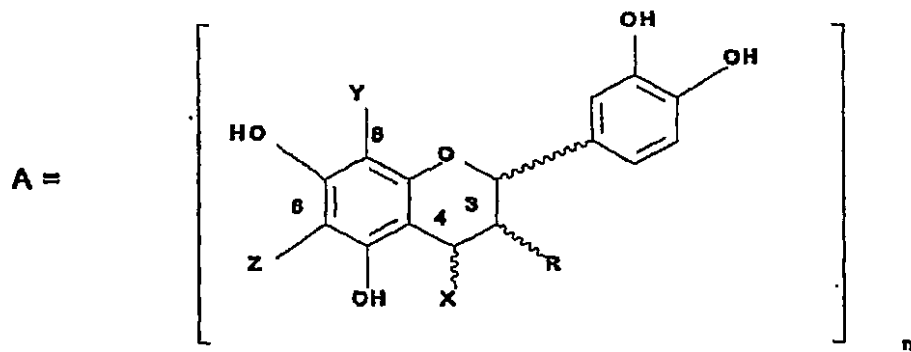
(i) カカオ成分と、

(ii) エピカテキン、カテキンおよびそれらの誘導体から選択される化合物であって、前記誘導体が没食子酸誘導体ではない、化合物と、

(iii) 下記化学式 A を有する化合物、またはその薬学的に許容される塩または誘導体と、

を有効量で含むことを特徴とし：

## 【化 2】



ここで、

n は 2 ～ 18 の整数であり、

R および X はそれぞれ、または 型の立体化学を有し、

R は OH または O - 糖であり、

C - 4、C - 6 および C - 8 の置換基はそれぞれ X、Z および Y であり、モノマー単位の結合が C - 4、C - 6 または C - 8 の位置で生じ、

C - 4、C - 6 または C - 8 のいずれも別のモノマー単位と結合しない場合は、X、Y および Z は独立して水素または糖であり、

前記糖は、随意的に、いずれかの位置においてフェノール部分で置換される。

【請求項 3】

前記対象が、動物であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 4】

前記対象が、ヒトであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、食品であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 6】

前記食品が、ペットフードであることを特徴とする請求項 5 記載の組成物。

【請求項 7】

前記食品が、飲料であることを特徴とする請求項 5 記載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物が、栄養補助食品であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 9】

前記カカオ成分が、カカオ粉末、カカオ抽出物、またはチョコレート・リカーであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 10】

前記 (iii) の化学式 A の化合物の誘導体がメチル化誘導体であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 11】

前記 (ii) の化合物が ( - ) - エピカテキンであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 12】

前記組成物が医薬品であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 13】

前記 (iii) に記載の化合物がプロシアニジン二量体であることを特徴とする請求項 1、2 または 12 記載の組成物。